

令和3年度(2021年度)文部科学省概算 要求に対する情報関係補助金予算の要望

本協会では、令和3年度における文部科学省概算要求に向けて、私立大学団体連合会に協力を要請するとともに、文部科学省私学助成課に以下の要望を行いました。

教育改革実現のための情報化関係補助金予算の要望

公益社団法人 私立大学情報教育協会

「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」では、分野を越えた専門知の組合せ、文理横断的なカリキュラム、学修の幅を広げる工夫が求められるとしています。その背景にはIoT (Internet of Things) の普及やAI (人工知能) 等の技術革新が進展普及し、様々な分野で産業構造、人々の働き方、ライフスタイルが大きく変化しつつあり、新たな社会的価値や経済的価値を生み出すイノベーションが日常的に要請されてくることを見据え、問題発見・解決型PBLの充実が急がれています。

これまでの大学教育は知識の伝達に比重が置かれてきましたが、これからは異なる分野の学生や社会人を交えて多面的に知識を組み合わせ、談論風発を繰り返すなかで既成概念にとらわれず知恵を創り出す、新たな価値を生み出す学びの仕組みに転換していく必要があります。対面による物理的空間の学びに加え、時間・場所を越えたサイバー上の仮想的空間と組み合わせた多様な「知」との新結合を目指す新しい学びのスタイルへの転換が強く望まれます。

今、正にコロナ禍の中で遠隔授業の有効性と可能性を体験していますが、これを機に大学のデジタルトランスフォーメーション化を見据えて、ICTによる最良の学修環境を整備し、学生が物事の本質を見極める意識を持って主体的に行動し、協働で創造的知性を引き出す教育のICT革新(デジタルイノベーション)が急がれています。

このような取組みを積極的に推進していくには、国の責任として高等教育の質向上に向けた情報基盤環境の支援が不可欠であり、補助事業による財政支援が喫緊の課題となっています。

そこで、本協会ではICTによる高度な教育環境を可及的速やかに整備するため、本年6月に教育の質向上に要する情報関係の施設費、設備費の調査を行い、補助事業に必要な財政支援の規模を別紙の通り集計いたしました。

つきましては、私立大学・短期大学の教育改革に向けた強い意欲を受けとめていただき、令和3年度政府予算概算要求において、「教育基盤設備」、「ICT活用推進事業」の予算拡大に特段のご配慮をいただきますようお願い申し上げます。

※ 補助事業別の補助希望額は下表の通りで、大学・短期大学834校の内、情報環境整備を計画している183校を集計した結果、2021年度(令和3年度)83億円、2022年度70億円、2023年度53億円となっています。また、情報環境を整備することで目指す教育効果については、①遠隔授業システムを用いて学修機会の確保、学修内容の理解度向上が79%、②事前・事後学修の学修時間の増加と知識定着・理解度向上が61%、③教員と学生間のコミュニケーションと主体的学修の促進が63%、④反転授業・eラーニングの普及による知識・技能の定着が56%、⑤アクティブ・ラーニング、PBL、TBLを充実して課題探求力の向上が48%、⑥双方向授業により思考力・判断力・表現力の向上が50%、⑦グループ学修を充実し、思考力・判断力・表現力の向上が35%と計画されており、3年度間に亘って教育効果の達成度を5割から8割を目指しています。

補助金活用による教育改革実現のための情報環境整備計画の補助事業別集計

(単位：百万円)

補助事業	2021年度				2022年度				2023年度				2024年度			
	校数	計画数	事業費	補助希望額	校数	計画数	事業費	補助希望額	校数	計画数	事業費	補助希望額	校数	計画数	事業費	補助希望額
私立大学等研究設備整備費等補助金「教育基盤設備」	41	94	3,366	1,683	38	58	1,760	880	34	53	2,374	1,187	34	47	1,392	696
私立大学等の教育研究装置・施設整備費補助「ICT活用推進事業」	142	280	13,334	6,667	123	225	12,437	6,219	96	173	8,233	4,117	62	99	6,091	3,046
合計	183	374	16,700	8,350	161	283	14,197	7,099	130	226	10,607	5,304	96	146	7,483	3,742